

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	10	事業名	印西市公共下水道事業		路線又は箇所名等		手賀沼処理区		
事業所管課		上下水道課			事業主体			印西市	
事業化年度	昭和49年度	用地着手年度	昭和55年度		工事着手年度	昭和49年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
				工事終了年度	平成53年度				
費用便益比 B/C	1.6	総費用	422億円	総便益	677億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	昭和56年度

【事業概要】

項 目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	905ha	413ha	385ha
処理人口	29,500人	20,680人	17,200人
事業費	248億円	107億円	100億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画413haに対して385haを整備し、整備率は93%である。
処理場用地の取得状況	-
処理施設の供用状況	-
供用開始区域の接続状況	接続率は95%である。
地元情勢等	印西市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

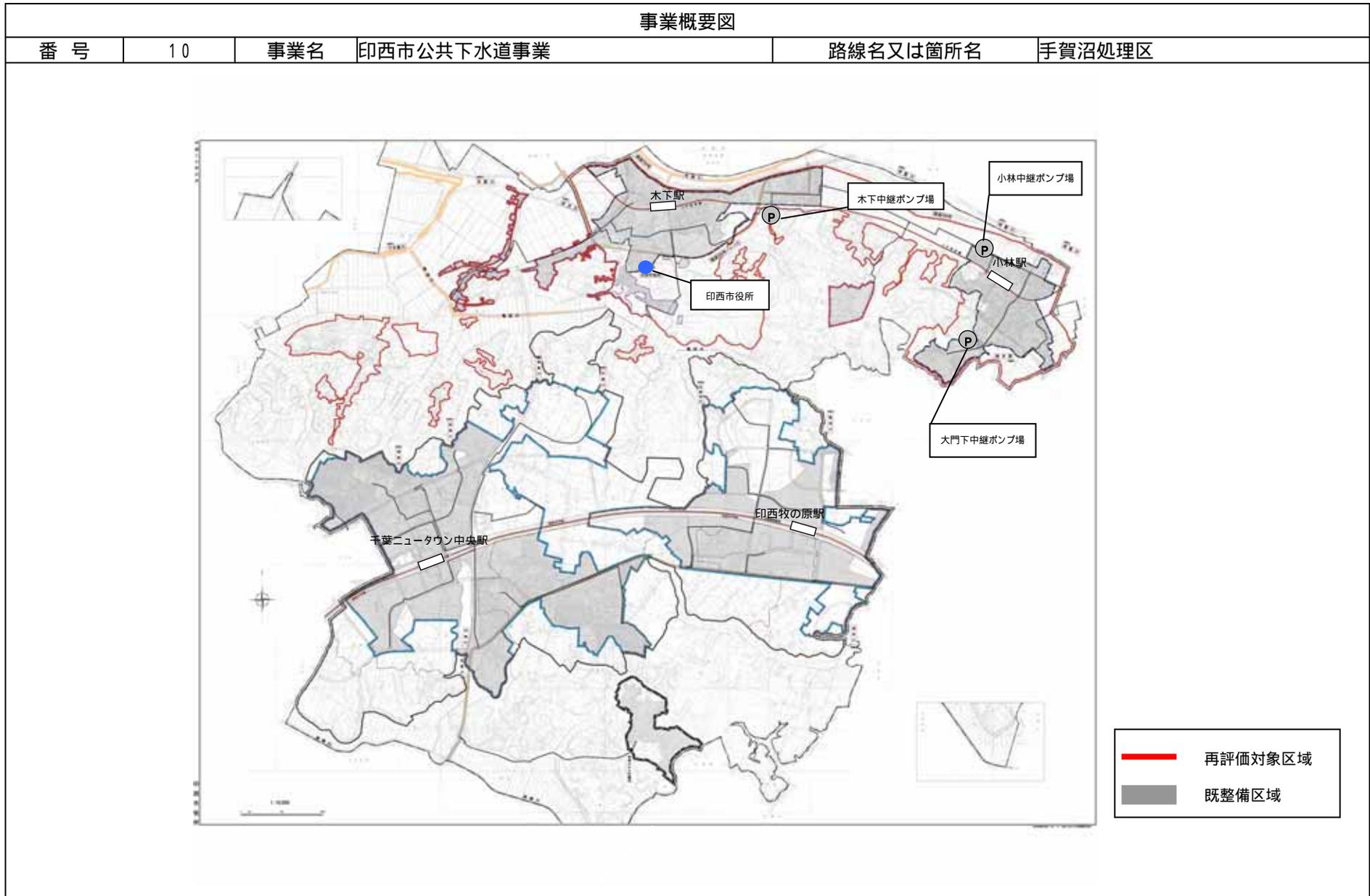
指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤碎石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

印西市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	10	事業名	印西市公共下水道事業	路線又は箇所名等	手賀沼処理区	
事業化年度	昭和49年度	用地着手年度	昭和55年度	工事着手年度	昭和49年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和56年度	対応方針	継続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		246億円	87億円			
用地取得面積		0.12ha	0.12ha			
供用面積(延長)		905ha	312ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和56年度	対応方針	継続	
B / C	1.6	総費用	422億円	総便益	677億円	
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		248億円	100億円			
用地取得面積		0.12ha	0.12ha			
供用面積(延長)		905ha	385ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	10	事業名	印西市公共下水道事業		路線又は箇所名等		手賀第一排水区他		
事業所管課		上下水道課			事業主体			印西市	
事業化年度	昭和49年度	用地着手年度	-		工事着手年度	昭和49年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成53年度			
費用便益比 B/C	1.2～4.4	総費用	122億円	総便益	340億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	昭和57年度

【事業概要】

項 目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
排水区域面積	609ha	318ha	159ha
処理人口			
事業費	148億円	73億円	38億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画318haに対して159haを整備し、整備率は50%である。
処理場用地の取得状況	
処理施設の供用状況	
供用開始区域の接続状況	
地元情勢等	印西市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

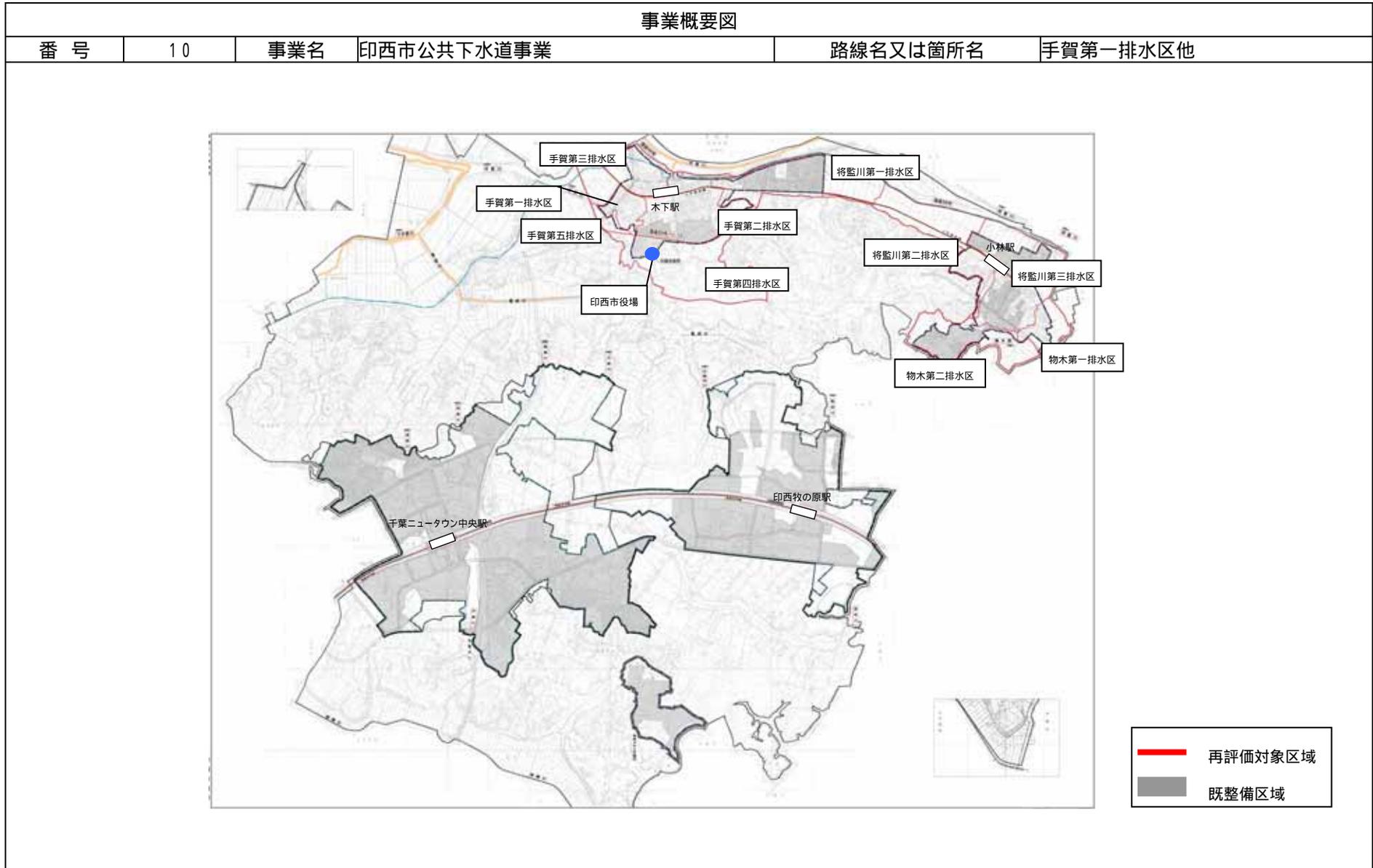
指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤碎石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	

【対応方針(案)】

印西市公共下水道事業は、今後も引き続き整備が必要であることから、当事業を継続していく方針です。



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	10	事業名	印西市公共下水道事業	路線又は箇所名等	手賀第一排水区他	
事業化年度	昭和49年度	用地着手年度	-	工事着手年度	昭和49年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和56年度	対応方針	継続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	147億円		18億円			
用地取得面積	-		-			
供用面積(延長)	609ha		145ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和57年度	対応方針	継続	
B / C	1.2 ~ 4.4	総費用	122億円	総便益	340億円	
現在の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	148億円		38億円			
用地取得面積	-		-			
供用面積(延長)	609ha		159ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、主に幹線管渠の建設を進めており、事業は進展している。					